

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2008年1月30日 No.29

3・1  
ピキニデー

## 海外代表顔ぶれ決まる

被災 54 年目の 3・1 ピキニデーが 1 ヶ月に迫りました。核兵器のない世界へ、2010 年の NPT (核不拡散条約) 再検討会議にむけて、全国・世界に運動を広げる重要なとり組みです。3・1 ピキニデーの諸行事に参加が決定している海外代表のプロフィールを紹介します。

美帆・シボさん = フランス在住。1982 年にフランス広島・長崎研究所を設立。日本でアニメ「つるののって」を製作・普及。2000 年度、朝日歌壇賞受賞。

アバッカ・アンジャン・マディソンさん = ロングラップ環礁選出のマーシャル諸島共和国前上院議員。核実験の被害を引き継ぐため、マーシャルにロングラップ平和ミュージアムを建設する運動にも取り組んでいる。

イ・ジュンキュ(李 俊揆)さん = 高麗大学・大学院卒業。政治学修士。民主労働党平和軍縮運動本部政策委員として平和運動をスタート。2003 年から平和ネットワーク政策室長として活躍。

ジョゼフ・ガーソンさん = 1976 年以来アメリカフレンズ奉仕委員会 (AFSC) で活動、ニューイングランド地方責任者。新著に『帝国と核兵器』(発行・新日本出版社)。米核戦略研究の第一人者。

ホアン・ハオミン(黄 浩明)さん = 中国国際民間組織協力促進会 (CANGO) 副理事長・秘書長、中国人民平和軍縮協会・准教授、清華大学 NGO リサーチセンター准教授、北京航空航天大学、公共政策管理学部准教授を務める。

## 「核兵器なくそう・世界青年のつどい'08 in 静岡」開催

「核兵器なくそう・世界青年のつどい'08」準備委員会は 3 月 1 日、「つどい'08 in 静岡」を焼津市文化センター小ホールで行います。第 1 部では、第五福竜丸元乗組員の 大石又七さん からピキニ被災体験と青年たちへのメッセージや、「核・平和・貧困 いろんな青年と手をつなごう」と題したパネルディスカッションを行います。フランスで反核活動をしている美帆シボさん、早稲田大学大学院で学ぶエジプト人留学生のモハメド・アブデル・ラーマンさん、小森陽一東大教授のもとで学ぶ韓国人留学生の安天(アン・チョン)さんの 3 人をパネリストに、2010 年にひらかれる NPT (核不拡散条約) 再検討会議にむけて、核兵器をなくす世論を広げるための青年の連帯について討論・交流します。首都圏青年ユニオン書記長の河添誠さんがコーディネーターを務めます。

その他、全国の活動を 1 分間で紹介する「1 分間スピーチ」など魅力的な企画を準備しています。第 2 部では少人数のグループに分かれ、パネリストを囲んで深めたり、感想を自由に語り合うグループトークを予定しています。参加費 500 円。問い合わせは TEL03・5845・6035 / FAX03・5845・6033 (担当・前川) まで。

日本原水協は 1 月 30 日、「核兵器のない世界、非核平和の日本へ 3・1 ピキニデーへの参加をよびかけます」を発表しました。2010 年の NPT 再検討会議にむけて、核兵器廃絶を迫る 2 年間の運動の全国的出発点として特別の重要性をもつと強調し、すべての団体、地域から代表派遣をつよめようと呼びかけています。「よびかけ」を活用し、申し入れ行動など大きく広げましょう。

3・1ピキニデー参加のよびかけ発表

3・1パンフを活用し草の根からの学習すすめ代表派遣を広げよう